

(あて先)
京都市建設局技術審査委員会

技 術 提 案 書

業務名称 道路事業の費用便益評価手法検討業務委託
京都市公共事業評価システム検討運用支援業務委託

標記の業務について、業務委託仕様書等を十分理解し、内容について承諾の上、
技術提案書を提出します。

提出者) 商号又は名称 _____

住所又は所在地 _____

代表者 _____ 印

電話番号 _____

FAX 番号 _____

企業の業務実績状況

会社名	担当者名
	連絡先

【建設コンサルタント登録】

登録更新年月日	登録番号	登録部門（21部門中）
年 月 日	建 第 号	<input type="checkbox"/> 道路部門

注1) 資格については該当する□にチェック（レ）を記入してください。

注2) 登録部門を証明し得る建設コンサルタント登録の写しを添付してください。

【業務実績】

業務ごとに記入してください（合計5件以内）

業務名 (TECRIS登録番号)	業務概要	発注機関	履行期間
()			
()			
()			
()			
()			

注1) 業務実績として挙げた業務については、それを証明し得る契約書、TECRIS業務カルテ及び必要な場合は設計図書の写しを添付してください。その他、業務内容及び従事者等、記載内容を証し得る書類（当該業務の発注者が作成したものに限り。自由様式。）の写しを添付した場合でも、その実績を確認できるものとします。

なお、実績が確認できる箇所をマーキングしてください。

管 理 技 術 者

会社名	担当者名	
	連絡先	

【管理技術者】

氏名		年齢		点数
経験年数				3
資格	<input type="checkbox"/> 技術士（「建設部門」の選択科目において「道路部門」）			2
	<input type="checkbox"/> RCCM（道路）			0

注1) 資格については該当する□にチェック（レ）を記入してください。

注2) 該当する資格については、それを証明し得る資格証明書の写しを添付してください。

注3) 点数については、審査基準を参考に該当する項目を○で囲んでください。

【業務実績】

業務ごとに記入してください（合計5件以内）

業務名 (TECRIS 登録番号)	業務概要	発注機関	履行期間	点数
()	(I, IIと同種業務) (技術者として従事)			3
()	(I, IIと同種業務) (技術者として従事)			2
()	(I, IIと同種業務) (技術者として従事)			0

注1) 業務実績として挙げた業務については、それを証明し得る契約書、TECRIS業務カルテ及び必要な場合は設計図書の写しを添付してください。その他、業務内容及び従事者等、記載内容を証し得る書類（当該業務の発注者が作成したものに限る。自由様式。）の写しを添付した場合でも、その実績を確認できるものとします。

なお、同種業務と判る箇所をマーキングしてください。

注2) 業務概要の欄について、業務概要を記載の上、I又はIIに該当するものに○を付けて下さい。

注3) 記入枠が少ない場合には、適宜追加してください。

注4) A4判2ページ以内としてください。

注5) 点数については、審査基準を参考に該当する項目を○で囲んでください。

主任技術者

会社名	担当者名	
	連絡先	

【主任技術者】

氏名		年齢		点数
経験年数				2
資格	<input type="checkbox"/> 技術士（「建設部門」の選択科目において「道路部門」）			1
	<input type="checkbox"/> RCCM（道路）			0

注1) 資格については該当する□にチェック（レ）を記入してください。

注2) 該当する資格については、それを証明し得る資格証明書の写しを添付してください。

注3) 点数については、審査基準を参考に該当する項目を○で囲んでください。

【業務実績】

業務ごとに記入してください（合計5件以内）

業務名 (TECRIS 登録番号)	業務概要	発注機関	履行期間	点数
()	(I, IIと同種業務) (技術者として従事)			2
()	(I, IIと同種業務) (技術者として従事)			1
()	(I, IIと同種業務) (技術者として従事)			0

注1) 業務実績として挙げた業務については、それを証明し得る契約書、TECRIS業務カルテ及び必要な場合は設計図書の写しを添付してください。その他、業務内容及び従事者等、記載内容を証し得る書類（当該業務の発注者が作成したものに限る。自由様式。）の写しを添付した場合でも、その実績を確認できるものとします。

なお、同種業務と判る箇所をマーキングしてください。

注2) 業務概要の欄について、業務概要を記載の上、I又はIIに該当するものに○を付けて下さい。

注3) 記入枠が少ない場合には、適宜追加してください。

注4) A4判2ページ以内としてください。

注5) 点数については、審査基準を参考に該当する項目を○で囲んでください。

管理技術者の業務実績

管理技術者の業務実績（様式 3-1 に挙げた業務）のうち、本業務に応用が可能と考えられるもの 1 件について、その内容を説明してください。

注 1) 適宜、カラーによる文字、図表や写真等を用いても構いません。

注 2) A 4 判 1 ページ以内としてください。

注 3) 当該業務に従事した実績が確認できない場合は審査できません。

主任技術者の業務実績

主任技術者の業務実績（様式 3-2 に挙げた業務）のうち、本業務に応用が可能と考えられるもの 1 件について、その内容を説明してください。

注 1) 適宜、カラーによる文字、図表や写真等を用いても構いません。

注 2) A 4 判 1 ページ以内としてください。

注 3) 当該業務に従事した実績が確認できない場合は審査できません。

業務の取組体制等

本業務の実施に関し、以下の事項を具体的に説明してください。

①取組方針、②取組体制（配置される担当者の資格）、③技術的提案以外について業務を実施するうえでの課題や配慮事項

注1) 適宜、カラーによる文字、図表や写真等を用いても構いません。

注2) A4判2ページ以内としてください。

技 術 的 提 案

- ① 本市が山間部で行っている道路事業である「一般国道162号(栗尾バイパス)」において、防災や地域の活性化などの観点から国の費用便益分析マニュアルで示される3便益以外で事業効果を評価できる指標をいくつか抽出し、それを抽出した理由、それを便益とした場合の課題及び課題解決策について具体的に提案をして下さい。

(参照) <http://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/cmsfiles/contents/0000118/118462/saihyouka23tiyousiyo-3.pdf>

- ② 本市が行った街路事業である「向日町上鳥羽線」において、利便性の向上や観光・景観などの観点から国の費用便益分析マニュアルで示される3便益以外で事業効果を評価できる指標をいくつか抽出し、それを抽出した理由、それを便益とした場合の課題及び課題解決策について具体的に提案をして下さい。

(参照) (第一工区) <http://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/cmsfiles/contents/0000067/67967/saihyouka21tiyousiyo-1.pdf>

(第二工区) <http://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/cmsfiles/contents/0000085/85967/saihyouka22tiyousiyo-3.pdf>

注1) 適宜、カラーによる文字、図表や写真等を用いても構いません。

注2) A4判4ページ以内としてください。

